

2022年6月9日 第422号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

平和憲法いかした外交努力を行え！

参議院選勝利！ 軍事費倍加よりくらし、社会保障の充実を！

憲法共同センターは6月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、6団体14人が参加しました。「憲法改悪を許さない全国署名」に協力してくれた男性は、「いつも野党に投票している。軍事費拡大のことを前面に出して参議院選挙をたたかったほうがいい」と話しました。

日本共産党の本村伸子衆議院議員は、「政府は軍事費を2倍にしようとしているがそうすると世界3位になり、軍事大国化になる。東南アジア諸国連合は平和の枠組みをつくり、平和構築のために努力しており、学ぶべきだ。戦争はダメ、ロシアは侵略戦争をやめろと声をあげよう。平和憲法をいかした外交努力でこそ希望がつかれる。一緒に声をあげよう」と呼びかけました。



全商連副会長の星実さんは、軍事費倍加について話し、「消費税を打ち出の小槌とする政策はやめるべき」と批判。年収240万円の業者に対する税・社会保険負担の割合が半分に近くになっていると厳しい状況などを話し、消費税減税やインボイス制反対について訴えました。

全日本民医連事務局次長の木下興さんは、ロシアのウクライナ侵略に乗じて改憲派が日米軍力強化、敵基地攻撃能力の保有、軍事費を拡大しようとしていると話し、「中国の防衛費は年間27兆円で、アメリカは101兆円。軍拡競争に与することは、私たちのくらし、社会保障に直撃する。憲法9条をいかした平和のための国際的な環境づくりが重要」と訴えました。

憲法会議代表委員(自由法曹団団長)の吉田健一弁護士は、敵基地攻撃能力の保有について「敵国の中枢まで攻撃する。ロシアがウクライナにミサイルで先制攻撃したと同じことをしようとしている。いのちとくらしを破壊し、戦争への道を拡大する」と話し、「平和憲法をいかし、参議院選挙では立憲野党の力を大きくしよう」と訴えました。

日本原水協担当常任理事の前川史郎さんは、「岸田首相は、唯一の戦争被爆国の首相であり、広島市の平和公園がある広島1区から選出されている国会議員であるにもかかわらず、核兵器禁止条約への署名・批准に背を向けている。6月21日開催の核兵器禁止条約締約国会議にもオブザーバー

参加を表明していない。核で安全は守れない。核抑止力は核使用が前提であり、プーチンと同じだ」と批判しました。

●総がかり行動 国会憲法審査会総括市民集会

改憲と軍拡許さず、社会保障の充実を

改憲問題対策法律家6団体連絡会と総がかり行動実行委員会は、6月9日昼に国会議員会館前で「国会憲法審査会総括市民集会」を行いました。

憲法東京共同センター・東京憲法会議の田中章史さんが発言。「憲法調査会の時から傍聴を続けている。2月10日以来、衆議院15回、参議院5回と毎回傍聴し、東京の『憲法ニュース』に傍聴記なども掲載してきた」と話し、論戦の様相を紹介。「改憲派は、9条を生かした外交努力をまったく話さない。必要なのは憲法を変えることではなく、9条に基づく外交を粘り強く行うことだ。昨日憲法東京共同センターは、144人が参加して署名提出集会を開き、約5万人分の署名を日本共産党の笠井議員とれいわ新選組の榎淵議員に手渡した。そして『全国署名』を武器に参議院選挙で立憲野党を前進させ、改憲勢力に3分の2を与えないたたかいを進めること、選挙後も、改憲の国民投票をさせない世論づくりのために大いに署名を広げることを確認した。改憲と軍拡を許さず社会保障や教育の拡充のため、参議院選挙を精一杯がんばる」と決意を表明しました。



●当面の行動

- | | | | | |
|----------|--------|------------------|---------|---------|
| 6月13日(月) | 総がかり行動 | 大軍拡とめろ！官邸前月曜連続行動 | 18時30分～ | 首相官邸前 |
| 6月16日(木) | 総がかり行動 | 署名宣伝行動 | 18時～ | 新宿駅西口 |
| 6月19日(日) | 総がかり行動 | 19日行動 | 14時～ | 国会議員会館前 |